

まちづくり市民会議の提案は？

これまで第1期～第7期のまちづくり市民会議から市へ政策提案を行いました。各提案の概要と、その提案に対して担当課から出された回答を紹介します。

【第1期】



「親子読書コンクール」(学校教育課)

概要) 夏休みに、親子で読書をし、その本の感想を親子で共有し、親子読書の様子を発表するコンクールを開催してください。

結果	採用
実施状況	<p>平成25年度に「ファミリー読書発表会」としてスタートしました。具体的には、学校等から推薦のあった家族の発表、図書館教育推進校の指定を受けている学校の発表等を行いました。平成30年度から、ビブリオトークに変更し、本の紹介をトーク形式で交流することを中心に実施し、夏休み中の読書意欲を喚起するようにしました。内容としては、小中学生が、これまでに読んだ本の中から、お勧めの本を1冊取り上げ、その本の魅力を紹介するものになります。</p> <p>今後も継続の予定ですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず中止としています。</p>



「子どもたちの地域間交流」(学校教育課)

概要) 市内の小学生が、関市内の各地域の魅力を知るために、旧関市内と合併地域とで交流事業を実施してください。

結果	不採用(既存の事業を拡充します)
担当課からの回答	平成24年度から行っている「中学生リーダー養成研修会」において、例えば武儀・上之保地区を尋ねて、その地域の自然や文化等を題材にして交流を図るなど、工夫して実施したいと思います。



提案
3

「学校のHPの改革」(学校教育課)

概要) 学校への理解者を増やし、自校の教育活動をより活発化するためには、まず、学校が生きた情報を出し続けることが必要であり、そのために、教師とPTA、子どもたちが力を合わせて学校のホームページを作成してください。

結果	採用
実施状況	<p>保護者はもちろんのこと、地域住民の学校への理解を深め、地域の学校としての位置づけを高めるため、学校の情報を積極的に発信する一助としてHPの工夫改善に取り組んでいます。</p> <p>また、新しい情報を容易にかつ迅速に掲載できるように、平成26年度に市内30校が基本的に同じフォームになるHPの作成をしました。現在は、統廃合により小学校19校、中学校9校の合計28校でHPを公開しています。</p>

提案
4

「SNSを活用した親と教師・学校をつなぐコミュニケーション」(学校教育課)

概要) 親と教師のコミュニケーションを図るために、Facebookグループ等のSNSを活用してください。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>「親と教師・学校をつなぐコミュニケーション」は非常に重要なことです。顔を合わせて話すことが最も基本的で大切な方法だと考え、各学校では、保護者が学級担任以外の職員にも気軽に相談できるよう、年度当初のPTA総会や案内文書で積極的に相談窓口等を紹介しています。SNSもコミュニケーションの一つの方法ですが、互いの真意を伝えることが難しいことが一番の課題と考えます。また、送信するのは気軽にできる反面、同時期に多数の質問や意見等が学校に寄せられた場合、その一つ一つに丁寧に対応しようとするとしても時間がかかり、迅速に対応できなくなることも十分に考えられます。</p>

提案
5

「子ども、親、教師が参加する学校対抗の行事」(学校教育課)

概要) 日常的に学校の情報を共有することは大切ですが、親、子どもと教師が一緒になって行事に取り組むことで、心の一体感が生まれます。そこで、親、子ども及び教師と一緒に活動に取り組む機会がなかなかなかったことを踏まえ、誰でも参加できる軽スポーツ(たとえば、綱引きや玉入れ)を学校対抗で行うなど実施してください。

結果	不採用
担当課からの回答	子どもと親と教師が一堂に会し、学校対抗を行う行事の開催は難しいと考えています。現在、「連合音楽会」(小・中)やタグラグビー(小)、水泳記録会(小・中)、「わたしの主張大会」(中)のほか、スポーツ少年団や中学校部活動の各種大会など通して、学校間の児童生徒の交流が行われていますが、この交流がさらに豊かなものになるよう働きかけをしていきたいと思ひます。



提案
6

「関シティバス・デマンドバスの導入」(市民協働課)

概要) 利用者の移動目的に合った地域公共交通を提供するため、デマンドバスを導入してください。

結果	採用
実施状況	富野、田原、迫間、向山地域はデマンドバスで、下有知、瀬尻・広見地区は、デマンド乗合タクシーで運行しています。 地域や利用者の要望をお聞きし、時刻表の改正時期に合わせて、定期的に乗降所の新設を行っています。なお、平成31年4月から、ファミリーマートと協定を結びました。利用者や運転手が待ち時間内に店内を利用でき、利便性の向上が期待できることから、デマンド乗合タクシーの運行エリア内の全店に乗降所を新設しました。

提案
7

「シティバス・定期乗車券の導入」(市民協働課)

概要) 公共交通の通学利用者を増加させるため、バス定期乗車券を導入してください。

結果	不採用
担当課からの回答	定期乗車券の導入により利用者の若干の増加は期待できますが、通学利用者の運賃を割り引くことによる収入が減少することが考えられます。したがって、関市シティバスの定期乗車券の導入は、現状では効果が低いと思われるために、今後、慎重に検討していきます。なお、現在、シティバスの回数券(100円券が11枚綴りで1,000円)を販売していますので、市民周知を行い回数券の利用促進を図っていきます。

提案
8

「関シティバス・市民サポーター制度の導入」(市民協働課)

概要) 持続可能な公共交通を実現するため、市民サポーターによる支援組織を設置してください。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>長良川鉄道につきましては、マイレール意識、存在の意義について市民の方に理解をいただいて様々な形で市民の皆さまからサポートしていただいておりますが、シティバスについてはまだその意識が薄いのが現状です。地域の公共交通を確保するために関シティバスの利用しやすい仕組みや路線を考え、改善を行って行く中で、関シティバスをはじめとしたバス交通の必要性を理解していただくことが優先だと考えています。</p> <p>現在はバス車両を利用した広告掲載によって一部サポートをしていただいておりますので、企業や店舗に対して広告掲載を募集しています。</p>

提案
9

「関シティバス・観光事業との連携」（市民協働課）

概要) 新たな利用者を増やすため観光事業と連携してください。(例：1日フリー切符の導入、公共交通で楽しむ関市観光ガイドブックの作成、乗車特典等)

結果	不採用
担当課からの回答	<p>平成26年4月に完成した関シティターミナルの待合所には、観光案内板や特産品販売のショーケースを設置し販売を開始しました。関シティターミナルの乗継拠点としてのPRおよび、シティバスを活用した観光ルートとバス路線図をまとめたガイドブックの作製を行い、関市観光協会と協力し、今後関シティバスを観光利用につなげていきたいと考えております。なお、1日フリー切符の導入は、利用者数や利用料金などの面で効果が低いと考えられますが、今後の課題として研究します。</p>

提案
10

「長良川鉄道・トロッコ列車の復活」（市民協働課）

概要) 観光目的の利用者を呼びこむ目玉として、かつて存在したトロッコ列車を復活してください。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>平成 26 年 3 月に沿線市町職員で構成される長良川鉄道再生研究会から沿線市町首長(取締役)に対して観光用車両の提案を行いました。</p> <p>長良川鉄道からは導入に当たり、コスト面の詳細な分析、調査や線路等施設の耐久性調査等様々な課題があるという回答を得ています。</p> <p>現在、トロッコ列車ではありませんが、観光列車の導入に向けて準備を進めています。</p>

【第2期】

提案
1

「将来の想いに火を灯せ（カタリバ等の実施）事業」（学校教育課）

概要) 市内の中高生を対象に認定NPO法人カタリバを招いて講演会またはカタリバ体験会を開催し、将来を話し合う対話スタイルについての理解を深めてください。また、継続的に関市内で実施していくための実行委員会を組織し、その市民ボランティアを広く募ってください。

結果	不採用
担当課からの回答	高校生に有効だと考えるので、市の教育委員会として働きかけることができる関商工高等学校に、キャリア教育の一環として紹介できます。

提案
2

「キャリア・コーディネーター設置事業」（学校教育課）

概要) より充実したキャリア教育を、より円滑に行うために「キャリア・コーディネーター」を学校に配置してください。キャリア・コーディネーターは、生徒の相談対応や学校と企業等との調整役を果たすようにしてください。

結果	不採用
担当課からの回答	キャリア教育に外部人材を登用して充実を図ることについて、内容や方法を十分に検討した上で実施を考えたいです。 今年度は、トップアスリートを招いて夢をかなえることの大切さや、夢をかなえるために努力することの大切さを学ぶ「夢教室」をキャリア教育の一環として開催します。

提案
3

「関市版キッズニア事業」（学校教育課、商工課）

概要) 子ども向け職場体験型テーマパークが都市で人気です。そこで関市でも市内に様々な職種・職場があることを活用し、子どもたちに地域にある職場で仕事を楽しく体験してもらえよう、「ハサミを組み立ててみよう」「ミシンを踏んでTシャツを作ってみよう」等を実施してください。関の産業を見ることは郷土教育にもなります。

結果	不採用
担当課からの回答	小学生の職場体験は、職業を疑似体験することに矮小化されないよう配慮することと、児童の発達段階を考慮して、慎重に進めるべきと考え

	<p>ます。</p> <p>また、中学校で行っている職場体験との共通点や相違点を明らかにして、検討する必要があります。また、国の教育改革の動きが加速しており、この事業の優先順位は低く実現できません。</p> <p>関市でテーマパーク的に集約して、多様な職業を体験できるようなメニュー化は難しいと考えます。今年度は「関の工場参観日」を夏休み期間（8月26日～29日）に設定し、子ども向けのメニューも多数用意しているので、ぜひ参加していただきたいと思います。</p>
--	---

提案
4

「キャリア教育の日の制定（学校教育課）」

概要) 市民みながともに話し合い、高め合う日としてキャリア教育の日の制定を提案してください。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>キャリア教育に対する市民への啓発にはたいへん有効な提案であると考えます。具体的な活動内容について、学校等との調整を図りつつ、実現に向けて検討したいと思います。しかし、学校はそれぞれの地域の実状に合わせた地域との連携した事業に取り組んでいるため、関市全体でキャリア教育の日を制定するのではなく、各学校が取り組むべき事業に優先順位をつけて取り組むことが重要と考えます。</p>



提案
5

「市長、部長インターンシップ」（職員課）」

概要) 関市内の若者に、関市長、部長へインターンシップする事業を実施してください。

結果	採用
実施状況	<p>大学や若者の要望・意見等により提案された内容を一部修正し、平成27年度より若者の行政に対する仕事理解と職業観の育成を目的としたインターンシップを実施しています。</p> <p>対象：高校生から大学生まで</p> <p>期間：8～9月のうち、2日～5日間程度</p> <p>募集人数：20人程度</p>


提案
6

「学生による投票率アップチーム結成」（総務管財課）

概要) 若者の投票率を上げるために、若者による若者に向けた投票率向上を訴える広報を考える事業を実施してください。

結果	採用
実施状況	平成26年度公募により、若者による啓発グループ「IKOMA Iプロジェクト」を結成しました。成人式や関まつりなどで投票率向上のための啓発活動を行っています。

提案
7

「高齢者いつでもサロン」（市民協働課、高齢福祉課）

概要) 高齢者が集まるために、誰もがいつでも気軽に立ち寄れるような常設の談話室のような空間「高齢者いつでもサロン」を実施してください。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>高齢者にとってたまり場は必要不可欠な場所であるため、市が取り組んでいる地域委員会（概ね小学校区を単位として設置）の取り組みとして提案していきたいと考えています。</p> <p>提案にある場所での常設サロンの開催は困難であると思われます。現在常のサロンとしては、高齢者たまり場創造事業のモデルとして、シルバー人材センターに委託している「にこにこサロン」を本町で開設しています。歩いて行けるような身近な地域ごとのサロンとしては、社協支部の活動を地域委員会や老人クラブ、まちづくり委員会などと連携し、地域の実状に合った開催を検討する必要があります。</p>

提案
8

「好きなことバンクと助け合いポイント制度」（企画政策課、高齢福祉課）

概要) 高齢者の好きなこと、得意なことを登録した「好きなことバンク」の設立と、日常生活の助け合いを気兼ねなく行うために「助け合いポイント制度」を設けてください。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>対象者を高齢者に限らず、ボランティア活動が広く市民に普及する仕組みを、地域通貨の導入と併せて研究していきます。</p> <p>シルバー人材センターに委託している「ワンコインふれあいサポート</p>

	事業」と重複する部分があるように思われるため、事業の棲み分けを十分検討する必要があります。社協や市の関係課とも協議をしながら、導入できるかどうか検討します。
--	--

提案
9

「地域コーディネーター育成事業」（高齢福祉課）

概要) 提案7、8の事業を行うためには、高齢者の取りまとめ役となるコーディネーターの存在が不可欠です。地域コーディネーターの育成事業を実施してください。

結果	不採用(既存の事業を拡充します)
担当課からの回答	<p>まずは、高齢者自らが、自分たちが主体となり、地域づくりをしていくという意識づくりが重要であると考えています。生産年齢の減少により、労働力はますます減少するので、元気な高齢者に頑張っていただき、支援の必要な高齢者の支えになっていただきたい。持続可能な社会を存続するために元気な高齢者の力を期待しています。</p> <p>地域リーダーの育成事業として「地域づくり型生涯学習コーディネーター育成研修」や「まちづくりリーダー養成事業」に取り組んできました。新たに事業を立ち上げるより、この事業に高齢者の視点を取り入れた内容を位置づけ、講座受講後の実践の場を提供します。</p>

提案
10

「幸せ創造授業」（学校教育課）

概要) 子どもの頃から人口減少時代の幸せについて考えることを定期的に行うことが大切です。小中学校で、人口が減って行く現状を教え、その後、その世界で「自分が幸せに暮らすために」について考える時間を設けてください。

結果	不採用
担当課からの回答	学校教育でぜひ取り上げたい内容です。実施方法は各学校の判断に任せますが、家庭教育学級説明会や校長会等において幸せ創造授業の実施を提案します。

提案
11

「幸せ実現企業」(商工課)

概要) 提案 10 で出た中学生からのアイデアを関市の企業が本気で実現する場「ビジネスアイデアコンテスト」を開催してください。

結果	不採用
担当課からの回答	「ビジネスプラス展 inSEKI」の場を活かす事が有効であるとの提案なので、秋に初めて開催する「関の工場参観日」も含め、実行委員会を組織しているので、提案の報告をしながら検討してまいります。

提案
12

「幸せ応援行政」(商工課)

概要) 提案 10、11 を取り組む上で、行政が金銭的、人的にサポートしてください。

結果	不採用
担当課からの回答	企業の商品開発のために補助することは難しいと考えます。提案事業 2 にあるような子どもたちのアイデアコンテストと連動した支援を検討します。

【第3期】

提案
1

「関のグルメの新提案 関デカ盛りプロジェクト」(観光交流課)

概要) 各種飲食店が、常人では到底食べることができないその店オリジナルの“デカ盛りメニュー”を考案し提供してください。その各店がチームとなり、さまざまな情報発信から誘客、経済活性につなげます。

結果	現状、不採用
担当課からの回答	<p>今回ご提案頂いた企画やコンセプトについては、市(行政が)中心となって実施するものではなく、熱意ある各店舗や商店街等との連携により実施するものと考えます。提案のありました事業について、各種店舗が集まる観光協会等において意見を聞き、連携して取り組んでまいります。</p> <p>→(現在の状況)今のところ関係業界からの反応はないが、次回の観光協会総会で意見を聞いたり、各種業界に文書などで照会しながら、反応を見ていきたい。</p>

提案
2

「小瀬鵜飼コンパ開催」(観光交流課)

概要) 千有余年の伝統漁法「小瀬鵜飼」が行われる小瀬鮎の里で、男女が会う機会を創出してください。幽玄なかがり火が、燃え盛る恋の炎に変わります。

結果	現状、不採用
担当課からの回答	<p>小瀬鵜飼保存会、観覧船事業を運営している関遊船株式会社、そこにかかわる船頭さんら関係者と、今回の提案について情報提供し意見交換を行います。また、鵜飼婚活の実施の際には、生涯学習課(公民館)における婚活施策や街コンを行う団体とも連携したいと考えています。</p> <p>→(現在の状況)今のところ反応はないが、引き続き、小瀬鵜飼保存会、観覧船事業を運営している関遊船株式会社、船頭さんら関係者と意見交換をし、実施に向けて検討を重ねたい。</p>



「わかもの活躍サポートセンターの設置」(市民協働課)

提案
3

概要) 高齢者のたまり場作りが進められているように、若者のたまり場ともいえる施設を設置してください。



「若者まちづくり会議の開催」(市民協働課)

提案
4

概要) 関市まちづくり市民会議は多世代の集まりです。若者にスポットを当てた、福井県鯖江市のJK課や全国各地で開催されている“若者会議”を関市でも開催してください。

結果	採用
担当課からの回答	<p>関市市民活動センターの事業として「関のわかもの会議」を実施しています。関市の若者が集まり、関で多様な働き方・暮らし方を学び、若者同士の語らいの場を作っています。参加した若者が関市の街に関心を持ち若者自ら活動を始めことを促進します。</p> <p>また関市では、平成28年度から高校生を対象とした「まちづくり倶楽部」が実施されました。そして、平成29年度には高校生の主体的なまちづくり活動を目的とした「VSプロジェクト」の活動へ移行しました。プロジェクトメンバーによる課題解決型の事業の実施や自分たちのやりたい企画の実践、関市内の見学、多様な方々との交流などを行っております。</p> <p>将来的には、関市のまちづくりプレーヤーに繋がることを目標に事業を推進しています。</p>

提案
5

「新ブランド『刃モノ一生モノ』の設立」(商工課)

概要) 新ブランドとして『刃モノ一生モノ』を立ち上げてください。「一生使える物」という絞り込みを行い、企業から「一生使える刃物」、「一生メンテナンスの約束ができる刃物」公募し、外部認定委員会が認定します。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>関市の刃物は高い評価を受けておりますが、企業ごとでブランド展開されている場合が多いかと思えます。しかし最近では、今治タオルなど産地ブランドが浸透してきておりますし、刃物会社様とはビジネスプラス展、工場参観日、はもけんなどの行事も含め関係を持っており、今後もブランディングについても引き続き意見を聞いていきたいと考えています。</p>

提案
6

「関は『刃物を使う町』『刃物を贈る町』として
市民からムーブメントを起こす事業」(商工課)

概要) 関市民は刃物を使うまち、贈るまちであることのムーブメントを作ってください。刃物のまちとして、市民が使うこと、贈ることを気に留め、行動に移すことで、市民の取り組みが話題を呼び、外部に向けた関市自身のブランディングへの一役となります。

結果	不採用
担当課からの回答	市では、伝統的な刃物が市民の皆様にとって、より身近に感じていただけるよう「ビジネスプラス展、工場参観日、はもけん」など刃物を身近に関われるイベントを行っています。これからも市民の皆様のムーブメントに合わせて、取り組んでいきたいと思ひます。

提案
7

「わがまち防災会議の開催」(危機管理課)

概要) 市全体ではなく、小学校区単位で防災会議を開催してください。地域住民が、地域で起こり得る災害について話し合い、避難方法など行動計画をつくることを3年毎に実施してください。

結果	現状、不採用
担当課からの回答	多様な訓練を行っていただけるように防災訓練補助金要綱を見直し、予算の確保を行いました。また、岐阜大学内に設置された「清流の国ぎふ防災・減災センター」に講師派遣の協力を依頼しました。

提案
8

「運転免許更新時における災害DVDの視聴」(危機管理課)

概要) 運転免許更新時の交通安全講習会に交通安全啓発用DVDとともに防災啓発用DVDを視聴できるようにしてください。運転免許保有者は、毎年ではないものの必ず3~5年に1度受講するため、防災意識を向上させる良い機会となります。

結果	不採用
担当課からの回答	関市で実際に発生した災害を題材とするDVDについては、防災を身近に考えるための教材として活用できると考えますので、DVDの制作を検討します。また、関市で実際に発生した過去の災害の調査を行うだけでなく、関市で起こる可能性の高い災害についても調査を行いDVD

	製作の検討を進めます。
--	-------------

提案
9

「非常食を活用した料理コンテスト・料理教室の開催」（危機管理課）

概要) 行政が備蓄している災害用非常食を使った料理コンテストや料理教室を開催してください。消費期限が到来する災害用非常食を防災訓練などで単に配布することよりも有効活用することができます。

結果	不採用
担当課からの回答	非常食を使った料理のレシピは、既に多く公表されており、その中から関市が備蓄している非常食などを用いた料理について、防災訓練などの各種イベントで紹介できるよう検討しています。

【第4期】

提案
1

「若者向けのアプリ、メールでの関のお店情報配信（安心メール活用）」
（市民協働課）

概要）安心メールの選択項目の一つとして、「若者向け、市内の魅力的なお店の紹介」を追加してください。定期的に、お店の記事が配信される仕組みです。配信される情報は、提案1等で作成したもの等が考えられます。この情報を配信するための学生チームをつくることも有効だと考えます。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>市が特定のお店や遊びの場所を紹介することはできませんので、観光協会や商工会議所などの協力が必要です。若者に向けた関市紹介アプリなどの開発支援を、市民活動助成金をできるのではないかと考えます。今後の展開としては、商工会議所等を通じて商店の学生割引拡大やPRなど若者に向けた発信が増えるよう働きかけをしていきたいと考えます。</p> <p>あんしんメールを使ったグルメ情報の発信について積極的な考えではありません。</p>



提案
2

「学生を中心とした関の魅力的な店舗の情報紙作成及び入学式での配布」
（市民協働課）

概要）現在、岐阜医療科学大学では、学生自治会が中心となり、関市のお店情報を作成し、それを入学生に配布しています。それを、関市全域に広げてください。また、市内の大学生とサポートする大人が集まり、「チェーン店だけではない、関の魅力的なお店」の情報紙を作成し、関の大学、専門学校の新入生全員に配布してください。

結果	採用
担当課からの回答	<p>市が特定のお店を紹介した情報紙を作成することは困難ですので、学生自治会が中心に実施していただくことが良いと思います。サポートとして、「関市市民活動センター」に入ってもらい、市民から見た情報なども盛り込めると良いと思います。関市のお店情報を観光情報などと併せて、大学の学生自治会に作成、配布していただき、それに対して市民活動助成金で支援します。観光情報やお土産情報、さらに市内のバス運行や長良川鉄道などの公共交通に関する情報が、学生向けに発信されていないことがわかります。作成にあたり、掲載する情報を、関係課と大</p>

学で打ち合わせます。



提案
3

「路線バスを使った観光モデルコースの作成及び路線バスの乗り方講習会の開催（市民協働課）」

概要) 今回の板取ツアーのように、現在既に走っている路線バスで観光できるためのモデルコースを作ってください。季節ごとに、板取だけではなく、上之保や武儀へのツアーも考案してください。また、その路線バスで観光の旅を企画する時、最初の1日目に、案内人もついでに路線バス乗り方講習会を実施してください。

結果	採用
担当課からの回答	<p>公共交通を使った市内の観光スポットを巡る4つのモデルコースを平成29年8月広報で特集しました。モデルさんにコースを回ってもらい、感想を記事にしています。</p> <p>また、岐阜バスと連携し、路線バスの往復乗車券と武芸川温泉又は上之保温泉施設の入浴券をセットにしたお得なきっぷの発売を企画し、平成30年9月から販売を開始しています。</p>

提案
4

「関市における貧困家庭の数を把握する『相対的貧困率』の調査の実施」（福祉政策課）」

概要) 世界的貧困の指標である「相対的貧困率」で、関市の貧困家庭の実態を調査してください。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>貧困率の算出には、世帯ごとの収入や支出についての各種データを幅広く収集して計算する必要があります。現時点では調査方法などについて確立されておらず、困難ではないかと考えます。また、市町村単位で貧困率の算出を行ったとしても、それだけでは他の市町村等との比較をすることができないため、得られたデータをより効果的に活用するためには、ある程度、自治体間の比較ができるように調査方法等を統一して実施することが望ましいと考えます。</p>



提案
5

「学習支援の実施」(福祉政策課→子ども家庭課)

概要) 定期的(週1回、2回程度)な学習支援を実施してください。定期的
に実施していくためには、今回のようにボランティアのみでの運営は難しい
と考えます。関市として予算化し、実施していただく必要があります。

結果	採用
担当課からの回答	平成29年度より関市ひとり親家庭の子ども学習支援業務及びコーディネーター委託事業にて、「NPO法人子援隊」が週2回実施しています。また、ときめき事業にて西部地区の「いちょうの会」が地域の子どもの居場所づくりの活動をする中で学習支援を行っています。



提案
6

「子ども食堂の実施」(福祉政策課)

概要) 学習支援に合わせて全国的に広がっている子ども食堂を実施する。

結果	採用
担当課からの回答	平成29年度より関市子ども食堂運営事業補助金を実施し、今年度は、NPO法人ヘルシーライフせきが1か所で月2回ひとり親を対象に子ども食堂を開設し補助を行っています。 また、道の駅むげ川にて、武芸川地区の子ども対象に武芸川子ども食堂が、西部地区 いちょうの会による子どもの居場所づくり(学習支援)の活動の中に軽食提供があります。

【第5期】



「子どもミュージアム商店街の初期費用のサポート」(商工課)

概要) 商店街を主として、親子が商店の仕事を体験できるイベントを定期的
に開催することを考えています。市には、実行委員会の発足の働きかけや、初年
度のみ費用の補助及び事業の宣伝活動をお願いします。市と協働することで、
実行する負担を軽減し、また、市と関連のある教育委員会等と通じることで、
宣伝効果も高いと考えられます。

結果	採用
担当課から の回答	商店街を中心とした実行委員会が主体として事業運営を担っており、市としては、昨年度までは参加者募集のための小学校へのチラシ配布、当日の運営補助を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業は中止されました。 今後の事業継続を見据え、財源含め事業を持続できる方法を検討していきたいです。



『小瀬・池尻周遊観光』のオプションツアー(有償)作りの補助」(観光交流課)

概要) 鵜飼に来たお客さんへ「小瀬・池尻周遊観光」のオプションツアー
(有償)を作るお手伝いをしてください。将来的な運営は「閑遊船」もしく
は「関市観光協会」に任せることを前提に、オプションツアーを作るための、
ガイドの育成、ツアーの企画、立ち上げの広報等のお手伝いをお願いします。

結果	保留
担当課から の回答	周遊地域への回遊性を高める施策の一つとして、オプションツアーの 手法は効果的であり、今後チームで研究される時にはアドバイスさせて いただきたいと思います。



「鵜飼乗船場での『小瀬・池尻周遊観光』マップ及び看板の設置」
(観光交流課)

概要) 看板と同時に、周遊するためのマップを作ってください。<設置場所：
鵜飼乗船場、各鵜匠の家、閑観光ホテル、円空館、市内の各スポット等>

結果	採用
担当課から の回答	池尻周遊観光の看板は設置いたしました。関市周遊観光のマップにつ いては既存の観光マップで対応しています。

提案
4

「大学と市が連携した講義の提供」(市民協働課)

概要) 関市のまちづくりや、歴史、福祉の現状が学べる講義を関市から提供してください。福祉・医療に関しては、担当の市職員や関市の施設での実習など、関市の実情から学べる機会を作ってください。

結果	採用
担当課からの回答	<p>中部学院大学では、平成 30 年度より地域の福祉やまちづくりを学ぶ機会を提供する授業を年 1 回実施しています。</p> <p>また、岐阜医療科学大学では、ボランティア技法の授業の中で、市職員が大学に行き、学生が提案する地域課題解決事業の意見交換を実施しています。</p>

提案
5

「大学と市民合同の関市を知って楽しむサークルの立上げを支援するコーディネーターの設置」(市民協働課)

概要) 今回の企画でサークル結成の意向のあった学生たちを中心に、学生が関市の魅力的なスポットを訪れたり、イベントに参加できたりする活動を市民と大学生との合同で立ち上げます。市民や大学をまたがる活動になるため、その運営には、間に入って調整するコーディネーターが必要だと考えます。設立して軌道に乗るまでコーディネーター支援をいただき、徐々にメンバー内でできるようにしていくことが望ましいと考えます。

結果	採用
担当課からの回答	<p>市民協働課と市民活動センターとで連携し、具体的なコーディネートの内容を検討し、コーディネーター設置事業を試行的に実施する方向で進めていきます。また、サークルという形を作るには、メンバーを必要とします。わかもの会議の開催などで関心の高い学生を集めていくことを検討していきます。</p>

提案
2

「広報せきでの大学生向けの情報発信」(秘書広報課)

概要) 住民票を移さずに関市に移住してきた学生へ、広報せきを配布してください。大学生の暮らしに役立つ情報ページを、広報せきに設けてください。市からの情報の提供だけでなく、大学生が自身の目線から必要な情報を提供できるページとして設けてください。

結果	採用
<p>担当課からの回答</p>	<p>広報は、市の取り組み、市民生活に役立つ情報などを広く周知することを目的とした刊行物であり、店舗やアルバイト、クーポン情報などを掲載する雑誌とは差別化しています。</p> <p>また、広報は幅広い年齢層の方々に役立つ情報を掲載していますので、大学生の生活においてもご活用いただける内容となっています。平成31年1月からは、若者にも手に取ってもらえるよう表紙をはじめとしてイメージを一新して製作しています。</p>

【第6期】



提案
1

「昼間の観覧船を活用したツアーの実施及び
様々な人や団体が昼間の観覧船を活用できる仕組みづくり」(観光課)

概要) 小瀬周辺地域を楽しむツアーと観覧船の乗船をセットにした企画を実施してください。また、より多くの人や団体が、観覧船を活用できる仕組みづくりとして、昼間の観覧船を活用する場合の、金額や時間等明確なメニューやルールをつくることや、船の費用の補助を検討してください。

結果	採用
実施状況	現在、昼間の時間や空き時間の船の利用について紹介いたしましたが、関遊船株式会社の利益の見込みが立っていないため、具体的な企画立案に至っておりません。



提案
2

「子どもたちの定期的な川遊びプログラムの実施」(観光課)

概要) 関の魅力的な資源として、川に親しみ育つことが当たり前になるために、定期的に川遊びプログラムを実施してください。また、子どもが川に親しむことが当たり前になるためには、親も川を親しむことが必要です。そのために、川遊びができる親を育てるプログラムや、川の危険性を学ぶプログラムの実施してください。この企画の運営には、川の達人を集まった団体ができ、実施を担うことが理想です。そのために、当初は、市民活動助成金の行政提案メニューである「いきいき」助成金にて、公募するところから始めてもらうことが良いと考えます。

結果	採用
実施状況	ご提案いただいた通りまさに市民活動であるため、助成金を活用し活動いただける団体、個人の方が活躍いただけることを期待しております。



提案
3

「民泊経験者を交えた民泊に関する説明会の定期開催」(観光課)

概要) 1ヶ月に1回程度など定期的に、市民に向けて民泊の状況や、法律、申請方法に関する説明会を設けてください。また、その説明会に市民の民泊経験者による体験談を話す機会を設けてください。

結果	採用
実施状況	刃物まつり開催期間中にイベント民泊を開催し、民泊を周知する事業として実施しました。興味のある方は、民泊サイトをご活用ください。



提案
4

「関市内の民泊実施者の情報及び民泊の始め方の事例集約・閲覧」（観光課）

概要) 関市内の民泊を実施した市民がどこで実施しているかをリーフレットのような形で集約してください。また、民泊の始め方（どのように家族の協力を得たのか、どのような手順で始めるに至ったのかなど）を集めた事例を民泊説明会時に渡すなど、情報として発信し、民泊を始めたい方へ周知してください。

結果	採用
実施状況	関市内における新たな民泊提供者を増やすための説明会や講演会、民泊提供者とゲストを結びつける世界最大級のサイト『Airbnb』を活用した事業実施を検討していきます。詳細につきましては民泊サイトでご覧いただけます。



提案
5

「ボランティアネットワークづくり」（市民協働課）

概要) 大学内にはボランティア活動を行う団体がいくつかあります。これらの団体と、ボランティアを必要とする地域へ呼びかけていただき、両者をつなぐネットワークの立ち上げを主導して行ってください。

結果	採用
実施状況	現在、岐阜医療科学大学と中部学院大学へ、学生のボランティア状況についてのアンケートを実施しました。現在コロナウイルス感染症の影響により直接のヒアリングが難しいため、アンケート内容をもとに事業を検討しています。



提案
6

「ボランティア受け入れ側への研修・コーディネート」（市民協働課）

概要) ボランティアや大学生の協力を必要とする地域団体（受入側）に対して、プロジェクト型ボランティアとして募集できるように、指導してください。大学生との窓口は提案 1 のネットワークからつなぎたいと考えます。地域団体独自でボランティア募集をかける前に、ボランティア内容、目的、期間、募集人数、参加方法、得られる経験などをきちんと明確にし、大学生にとって参加したいと思うボランティア募集内容作りへのアドバイスをネットワークに参加し地域団体へ行ってください。

結果	採用
実施状況	<p>地域委員会を対象に岐阜NPOセンターが実施している「ボランティアの受入側の研修」の案内を送付しました。今後は市民活動センターと協働でボランティア受入側の研修を企画していきます。また今年度は、社会協議福祉会とボランティアの状況を共有し、本事業を提案していきたいと考えています。</p>

【第7期】

提案 1 高齢者世帯に対して、「防災チケット」を発行してください。(危機管理課)

概要) 防災に関心のなかった高齢者が、事前の備えについて確認できるよう、減災のアクションが一覧になった「防災チケット」を渡してください。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>世帯構成や住居、所持品などの違いにより、各世帯によって必要、不必要の差やサービス内容が大きく異なる可能性があること、また無料で実施することは資材・人材的にも非現実的です。昨年度、全戸配布した「防災ガイドブック」の内容と重なる部分があるので、出前講座や防災訓練などのなかでの意識啓発と各世帯での災害対策の実践により対応したいと考えます。</p> <p>また、今後も有効な防災対策について検討していくとともに、市内の防災士が活躍できるようつながりや人材育成も行いたいと考えます。</p>

提案 2 「防災チケット」を、高齢者に関わりのある人から渡してください。
また、その団体に対して、防災の講習会を開催してください。(福祉政策課)

概要) 提案1の「防災チケット」を、民生委員や自治会、社会福祉協議会など、普段から高齢者に関わりのある人から手渡し、ともに確認しながら、本人に説明してください。また、それら団体に防災の講習会を開催してください。

結果	不採用
担当課からの回答	<p>民生委員児童委員は、特別職の地方公務員であり、ボランティアとして活動しています。相談や支援及び助言や行政等との連絡調整などは行っていますが、防災も含め指導する立場ではありません。要配慮者への支援については、すべての人の関わりが必要であると考えます。民生委員児童委員の立場に関わらず、いち市民として防災講習に参加していただければと思います。</p>

提案 3 コミュニティバスの「乗り方」を説明した動画(コマ送り動画)を作成してください。(都市計画課)

概要) バスの乗り方は各地で異なり、それがよく分からないがために乗ることに繋がらない点があります。バスの乗り方を動画で説明し、webサイトや、バス停でQRコードが読み取れるようにしてください。

提案
4

高校生（若者）へおすすめしたいスポットへのバスでの行き方を、楽しい動画（コマ送り動画）で作成してください。（都市計画課）

概要) 動画は高校生がアクセスしやすく、目的地までのバスでの行き方を紹介することで、コミュニティバスの利用が促進できると考えます。また、高校生が身近に感じるシチュエーション動画が望ましいです。高校生たちが憧れるユーチューバーに監修に入ってもらい、高校生や若者を中心とした動画制作チームを作ると、より楽しいコンテンツが生まれると考えます。

結果	採用
担当課からの回答	<p>実施にあたり、令和2年8月に、市民協働課や市民活動センターと今後の進め方について事前打ち合わせを実施しました。同年9月に動画撮影に協力してくれる若者への協力依頼と意見交換を行い、@SEKIチームや若者と動画の構想やお勧めスポット等について会議を行いました。</p> <p>本年12月の動画完成を目指し、4回ほど会議や撮影の講習会や撮影のために参集をお願いし、動画が完成したら、ユーチューブ等にアップする予定です。</p>

提案
5

パパが主役になれて、夫婦で参加が可能な託児付きの子育て講座を実施してください。（子ども家庭課）

概要) 夫婦のパートナーシップを築くには、当事者同士だけでは難しいため、講座という形で、夫婦の時間づくりを行政がサポートする必要があると考えます。パパが主役の「料理講座」や「夫婦のコミュニケーション」がとれる講座など、行政だけでなく、子育て世代の声を取り入れて企画することが望ましいです。

結果	採用
実施状況	<p>令和2年度 関市いきいき市民活動助成金(協働型)事業として実施することとし、令和2年度の講座内容に関する助言等を行ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、講座の開催が中止となりました。</p>